

## 道路行政セミナー2012年7月号 NO.046 2012年7月20日発行 ポイント

### ◇◆特集◆◇

#### ★[道路 PPP 研究会 道路占用の対価の在り方に係る専門部会] 提言について★ (国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

昨年12月に道路 PPP 研究会に「道路占用の対価の在り方に係る専門部会」が設置され、本年4月に道路占用料制度の在り方や運用の見直しに関する提言がまとめられた。

本稿においてはその概要を紹介する。

### ◇◆道路占用Q&A◆◇

#### ★原因者負担金について★ (国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

原因者工事、原因者負担金について解説する。

### ◇◆TOPICS◆◇

#### ★新東名高速道路の開通とその効果★ (NEXCO中日本)

新東名高速道路の御殿場 JCT から三ヶ日 JCT までの約 162 km が 2012 年 4 月 14 日に開通した。

施行命令から 18 年 5 ヶ月の歳月をかけた、我が国のビックプロジェクトの 1 つであり、高速道路が一度に開通する延長としては最長である。本稿では今回開通した区間の路線概要とその効果について報告する。

## ◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

### ★権限代行による災害復旧事業について★

～平成23年7月新潟・福島豪雨～

一般国道252号二本木橋災害復旧  
(北陸地方整備局 道路部 路政課)

平成23年7月27日から30日にかけて新潟県及び福島県で発生した「平成23年7月新潟・福島豪雨」を受け、阿賀川・只見川の河川関連施設の災害復旧を福島県からの受託、国道252号二本木橋の道路関連施設の災害復旧を直轄権限代行として北陸地方整備局で行うこととしました。

本稿では、一般国道252号二本木橋の災害復旧に係る直轄権限代行について、その経緯と関係法令に基づく手続きについて報告します。

.....

### ★ご当地グルメ王国・くだもの王国の道路整備★

(岡山県 土木部 道路整備課)

ご当地グルメブームなどに支えられ、県内各地を訪れる観光客も増加傾向にあり、各観光地へのアクセス強化など道路整備の重要性がますます増して行く中、本県の幹線道路網の形成をつかさどる道路の県管理区間は約3,700kmにも及んでいます。

本稿では、こうした県管理の道路の主な整備事業について報告させていただきます。

.....

### ★岡山市の道路管理★

～橋梁の長寿命化、舗装の維持管理、地下道の冠水対策、道路の愛称設定～

(岡山市 都市整備局 道路管理課)

岡山市は、古くは吉備文化の発祥地として栄え、安土桃山時代は宇喜田家による城下町の形成、江戸時代は池田家による治水や新田開発、さらには日本三名園のひとつ後樂園が築かれ、今日に至っています。近畿と九州を結ぶ東西軸と日本海と太平洋をつなぐ南北軸の結節点に位置する岡山市の道路管理に関する取組みを紹介します。

## ◆◆編集後記◆◆

2012年7月27日から8月12日までの17日間、第30回オリンピック競技大会（26競技302種目）がイギリスのロンドンで開催されます。

オリンピックへの出場権は、幾度の予選を勝ち抜いたものだけが手にすることができます。選ばれしトップアスリートたちは、世界一となるため、それぞれに努力を積み重ね、出場権を獲得したからこそ、オリンピックでの競技は、観戦する多くの人に感動を与えるものとなるでしょう。

トップアスリートによる競技ももちろん楽しみですが、競技と同様に見逃せない！と心待ちにしているのが、開会式のセレモニーです。ロンドン大会では、シェイクスピアの「テンペスト」をモチーフに“驚きの島々”というテーマで、イギリスの歴史や文化などが紹介される予定です。開会式は7月28日(土)午前5時（日本時間）から始まるとのこと。眠い目をこすりながら見ることになりそうですが・・・。

世界一となる金メダルを獲得するために、競技が行われますが、オリンピックには、スポーツを通じて心身を向上させ、文化や国籍などを超えて友好を深め、フェアプレーの精神をもって、平和な世界を築いていこうという理念があります。これをオリンピズムといいます。オリンピズムのために行う活動はオリンピック・ムーブメントと呼ばれ、そのシンボルとなるのが、みなさんご存じの「青・黄・黒・緑・赤」からなる5色の輪です。これは世界の5大陸（ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニア）が表現され、世界がひとつに団結するという意味が込められています。

2016年にはブラジルのリオデジャネイロでの開催が決まっています。東京では、次の開催地となることを目指し、招致活動を進めています。開催の実現は、東日本大震災により甚大な損害を受け、復興を目指す日本にパワーを与え、支援をしてくれた世界中の人々へ感謝の気持ちを示す機会にもなるのではないのでしょうか。

2020年は、東京で開会式のセレモニーやトップアスリートたちによる競技を見たい！と願いながら、今夏はテレビでゆっくりオリンピックを楽しみたいと思います。(K)